

第17回 桜まつり

2日間盛大に開催

第17回桜まつりは4月2日(土)、3日(日)の2日間、好天の狭山稲荷山公園特設 ステージで、予定通り盛大に開催することができました。初日オープニングは小谷野市長の挨拶があり、市の重要なイベントと位置付けられています。

今回は最初の段階で出演枠が全て埋まり、一般募集ができない状態でしたが、その後1団体の辞退があり、一般参加団体を加えて24団体で各種演技を行いました。毎年やきもきする開花はまさに満開で、桜花を背景に次々と演技が繰り広げられました。

それぞれ準備をしっかり行い、自分たちが演技を楽しんで発表している姿勢が観客席に伝わり、このことがまた舞台に反映し盛り上がりとなりました。各参加団体とも中高年者が多い中で、子供たちのバントワリングの澁刺とした演技は大好評でした。すこやか体操、太極拳、民踊、かつぼれ等の飛び入り参加の呼び掛けには、皆さん気軽に応じて、客席が一体となって楽しむことができました。



観客も飛び入りの「かつぼれ」

も友好都市の津南町からも参加、営業成績も好調であったと伺っています。

最後に参加団体の皆様、公園の関係者、市役所の皆様、音響、舞台設営・撤収の川路工務店さん、その他大勢の皆様のご協力ありがとうございました。



BTC Clover のバントワリング

司会は昨年引き続き、地元演歌歌手の中島まさるさんが吉田理子さんと務め、軽妙な紹介、進行と、幕間のつながりをタイミングよく進めました。前回初めて行った「クイズ」は今回も好評で、来園の参加者に喜んでいただけました。

フィナーレは土曜日稲荷山さくら音頭、日曜日狭山ふるさと音頭を、出演者、観客が揃いのハッピーで踊り終了となりました。

共同開催の狭山市観光協会が取りまとめている模擬店は祭りの盛り上げ、賑わいづくりに不可欠となっております、今回

実行委員長 中村 伶華

常任理事会便り

文芸作品を募集します

文団連では、東日本大震災被災者支援プロジェクト活動として、毎年2月に行われる「狭山市民芸術祭」にて一般公募した文芸作品を展示しています。今年度より、お寄せ頂いた作品を、この会報「文化のいぶき」においても紹介すると共に、年間を通して作品募集をする事になりました。

ジャンルは俳句、短歌、童句、詩など、テーマは、「いのち、愛、希望、ふるさと、および、その他(自由)」です。愛好家の皆さまからの作品をお待ちしています。

お問い合わせ先：文団連携帯(090-6714-6048) または 岸野 (kiishan@hotmail.co.jp)

以下は、本年2月開催の第16回狭山市民芸術祭へ寄せられた作品の一部です。

「愛」 日溜りに咲く 福寿草 大家族 山下陽子
「希望」 パンを夢見 麦踏む足や 軽やかに 小山義則

小川事務局長